

## 授業改善等に関する報告書（2023年後期）

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2023 (後期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
キャリア・マネジメント論	谷内 篤博	全体的に1年生には難しかったようで、授業の理解も当初予定したよりも低く、分かりやすい授業の重要性を再認識した。板書についても見やすい板書を心掛けたい。
コーチング論	谷内 篤博	難しい専門科目の授業であるが、ケーススタディとロールプレイング中心の授業が功を奏したのか、授業満足度もさらに学びたい項目のスコアも高く、授業担当者として満足している。
ジェンダーの人類学	高橋 美和	ほぼ平均的な結果となりました。講義も発表もレポートも、皆さん真面目に取り組んでいただけました。レポートに関しては、全体的に良かったのですが、アウトラインの段階でもう少し助言をしてあげていたら、さらに論旨が整ったかもしれない方もいたので、そこはお詫びします。
ジェンダー論	山根 純佳	スライドの見にくさについてコメントがあったので、わかりやすいスライドづくりを心がけたい
ソーシャル・デザイン・プロジェクトA	標葉 靖子	社会の課題を解決することは、誰もが主体的に取り組んでいくことのできるものです。身近なところから構いませんので、広く社会に関心を持ちながら人々と協働しながら課題解決に取り組むプロセスを今後も実践していきましょう。
データベース基礎	竹内 光悦	評価としては悪くないのですが、無回答者もいるため、参考までにします。これからますますデータのサイズが大きくなり、複雑になるため、データベースなどのデータ処理の知識とスキルをさらに使いこなしていきましょう。
フィールドワーク論	高橋 美和	全項目が平均もしくはほんの少し高めという数値でした。課題が非常に多い演習科目でしたが、みなさん本当ががんばりました。ペア/グループワークのメンバーを意識的に毎回変えましたが、初顔合わせ同士の協働でコミュニケーション能力が向上したというコメントを複数いただきました。それも含め、全体としてよかったと思います。
メディア・ワークショップ	標葉 靖子	漠然とした社会課題を出発点に、単なるアイデアの提案で止まらず、実際にデモができるレベルのアナログゲーム試作品を開発してテストプレイまで行うことが本授業の最大の特徴です。複雑な社会課題をモデル化し、実際にゲームとして機能するシステムに落とし込んでいくプロセスは想像以上に困難の連続であったと思いますが、同時に達成感も一入ったのではないのでしょうか。そのプロセスの体験を通して培った、複雑な問題を読み解く力や物事を多面的にとらえる力を、今後さまざまな場面で発揮しさらに磨いていくことを期待します。
メディア心理学	駒谷 真美	まずアンケート全項目について全体平均と当該区分平均を大きく上回る評価がされており、大変嬉しく思っている。 履修生88人の一人1人が積極的に学ぼうとする姿勢は、講義中のresponのアンケート、講義後のリフレクションシート、課題レポートから十分伝わってきた。 学生たちが講義スタイルを高評価してくれただけでなく、学生たちも自身の成長を実感しメディア領域への学習意欲を感じ講義に満足し、意欲的に取り組んだくれたことが、教員として今後の励みになった。
メディア表現	駒谷 真美	まず履修生全員の真摯な活動について労いたい。 この講義では、毎回履修生がメディアテキストを制作している。本年度は、大学公認ラジオ番組「渋谷のJJラジオ」(JJラジオ1)のインスタに「ありのままの実践女子大生」を映像表現としてアップするため、グループで動画制作に挑戦した。履修生たちは、プロ動画クリエイターの特別講座を受けてから、企画・撮影・校正・公開まで積極的に計画しながら動画制作に取り組んでいた。毎週のピッチプレゼンで進捗状況を共有し、2週間に1~2作品を発表し、中間・最終合評会ではプロのクリエイターからフィードバックをもらい、最終的にグループで作品のインスタ分析も入れたポートフォリオを完成させた。 この一連の活動が、自己成長実感度・専門領域への学習意欲度・成績評価・自己満足度・意欲取り組み度、全てに高い評価として表出していた。
リーダーシップ開発A	標葉 靖子	本授業で扱ったように、皆さんの日常中にはいくらかでもリーダーシップを発揮できる機会があります。これからも意識して、集団の目標達成には何ができるのかを自ら考え、実際に行動に移していくことを習慣づけていきましょう。皆さんの益々の活躍を期待しています。
異文化理解	阿佐美 敦子 時田 朋子	グローバル化が進む現在、異文化を理解する力は重要となってきています。授業で学んだ視点を生かして、異文化に関わっていきましょう。
英語コミュニケーションI	阿佐美 敦子 シオティーノ、アン	ご回答くださった皆さん、ありがとうございました。 皆さんにとっては容易ではないテキストを使用しましたが、授業では辛抱強く向き合っていたことを評価したいと思います。総合的に満足しましたか?という問いに対して、「とても当てはまる」36.4%、「どちらかという当てはまる」59.1%の回答を得たことは、皆さんの積極的な取り組みのおかげです。 来年度も必修の英語科目がニコマありますが、プラスして自発的に英語科目を履修したり、自学修も続けたりして、今の英語力をさらに向上させてくださることを願っています。今後の英語学習について疑問や不安があれば、是非、ご相談ください。一緒に考えさせてください。

[2023 (後期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
英語コミュニケーションⅠ	阿佐美 敦子 ミラー, ブルース	Thank you to everyone who took the time to answer the class questionnaire. I appreciate everyone's efforts and dedication through the past year to try and create a successful learning environment. I would like to continue to increase and improve opportunities for being able to speak as actively as possible in class. Finally, I hope you will all have a safe and enjoyable spring holiday, and we will have a chance to meet again on campus in April! ( : (ミラー)  ご回答くださった皆さん、ありがとうございました。 皆さんにとっては容易ではないテキストを使用しましたが、授業では辛抱強く向き合っていたいただいたことを評価したいと思います。意欲的に取り組みましたか?という問いに対して、「とても当てはまる」55.6%、「どちらかという当てはまる」33.3%の回答を得たことは、皆さんの積極的な取り組みを示しています。 来年度も必修の英語科目がニコマありますが、プラスして自発的に英語科目を履修したり、自学修も続けたりして、今の英語力をさらに向上させてくださることを願っています。今後の英語学習について疑問や不安があれば、是非、ご相談ください。一緒に考えさせてください。(阿佐美)
英語コミュニケーションⅠ	グティエレス, ティモシー 時田 朋子	コミュニケーションとしての英語を楽しんでいただけただけでしょうか。英語のスキルアップを目指して2年時の授業も頑張りましょう。
英語コミュニケーションⅠ	マルチェフ, ミレン・アンゲロフ 時田 朋子	コミュニケーションとしての英語を楽しんでいただけただけでしょうか。英語のスキルアップを目指して2年時の授業も頑張りましょう。
英語コミュニケーションⅡB	阿佐美 敦子 ライト, アレックス	ご回答くださった皆さん、ありがとうございました。 皆さんにとっては容易ではないテキストを使用しましたが、授業では辛抱強く向き合っていたいただいたことを評価したいと思います。総合的に満足しましたか?という問いに対して、「とても当てはまる」61.5%、「どちらかという当てはまる」38.5%の回答を得たことは、皆さんの積極的な取り組みのおかげです。 来年度は必修の英語科目はありませんが、自発的に英語科目を履修したり、自学修も続けたりして、今の英語力をさらに向上させてくださることを願っています。今後の英語学習について疑問や不安があれば、是非、ご相談ください。一緒に考えさせてください。
英語コミュニケーションⅡB	ミラー, ブルース 内田 里美	Thank you to everyone who took the time to answer the class questionnaire. I appreciate everyone's efforts and dedication through the past year to try and create a successful learning environment. I would like to continue to increase and improve opportunities for being able to speak as actively as possible in class. Finally, I hope you will all have a safe and enjoyable spring holiday, and we will have a chance to meet again on campus in April! ( : (ミラー)
英語コミュニケーションⅡB	グティエレス, ティモシー 富倉 教子	アンケートのご協力ありがとうございました。皆さんの率直なご意見、感想、改善点など確認させていただきました。今後これらの貴重な意見を参考にコースに反映していきたいと思っています。皆さんの今後の学校生活を応援しています。
英語コミュニケーションⅡB	シオティーノ, アン 時田 朋子	コミュニケーションとしての英語を楽しんでいただけただけでしょうか。必修の英語の授業はこれで終わりになりますが、実社会において英語はますます重要になってきています。ぜひ英語のスキルアップを目指して学び続けてください。
英語コミュニケーションⅡB	ミラー, ブルース 時田 朋子	コミュニケーションとしての英語を楽しんでいただけただけでしょうか。必修の英語の授業はこれで終わりになりますが、実社会において英語はますます重要になってきています。ぜひ英語のスキルアップを目指して学び続けてください。
英語コミュニケーションⅡB	阿佐美 敦子 マルチェフ, ミレン・アンゲロフ	ご回答くださった皆さん、ありがとうございました。 皆さんにとっては容易ではないテキストを使用しましたが、授業では辛抱強く向き合っていたいただいたことを評価したいと思います。この授業に意欲的に取り組みましたか?という問いに対して、「とても当てはまる」42.9%、「どちらかという当てはまる」42.9%の回答を得たことは、皆さんの積極的な取り組みを示しています。 来年度は必修の英語科目はありませんが、自発的に英語科目を履修したり、自学修も続けたりして、今の英語力をさらに向上させてくださることを願っています。今後の英語学習について疑問や不安があれば、是非、ご相談ください。一緒に考えさせてください。
英語コミュニケーションⅡB	ライト, アレックス 富倉 教子	アンケートのご協力ありがとうございました。皆さんが様々な形で授業を捉え、自身の成長に繋げていっていることが伺え嬉しく思っています。今後これらの貴重な意見を参考にコースに反映していきたいと思っています。皆さんの今後の学校生活を応援しています。
演習Ⅰ	蔦 飛鴻	総合評価では全体平均の4.42に対して、この科目は4.57と高くなっており、配布資料という項目を除いて平均をかなり上回っています。今後は配布資料をさらに工夫し、よい講義を継続できればと思います。ご回答どうもありがとうございました。
演習Ⅰ	高橋 美和	前半はレポートの書き方、後半はグループワークとプレゼンという構成でした。コメントは肯定的なものがほとんどでしたが、アンケートの数値では満足度があまり高くありません。おそらく、グループワークのグループ人数が若干多すぎて一部のみに負担が集中し、一方他のメンバーに達成感が感じられにくかったのかもしれませんが。前半のレポートは、みなさんしっかり取り組んでくれたので、全体としてよかったです。

[2023 (後期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習 I	吉田 雅彦	85.7%の学生に満足と評価されました。レポートを作るときの手順や参考文献の書き方の基本、powerpointの見やすいスライドの作り方など今後役に立つことを多く知れた。今回は自分1人でのパワーポイントを作り発表をしました。パワーポイントの内容だけでなく、発表の聞き取りやすい喋り方やスピードなども細かく教えてもらい発表に対する理解が深まりました。ゼミが同じ学生とグループで活動できて協力して課題に取り組むことができたので良かった。などのコメントをいただきました。
演習 I	数野 昌三	2023年度「演習 I」では、班分けし、メンバーで話し合い、テーマを設定、問題点を発見し、諸問題解決への基準を調査・比較検討することにより解決策へと導く。そのプレゼンの中でレジュメ&パワポを使用し、ゼミ員全員に理解してもらおうという作業を実施しました。発表会数も1名につき3回。それに加え、ディベートも実施しました。つらかった時期もあったかと思いますが、本演習において努力した学生は、その努力が必ず上級学年において役立つことを願っています。
演習 I	竹内 光悦	半期でしたが、お疲れさまでした。おおむねよい評価でしたのでほっとしています。学んだことは2年生になっても必要な知識やスキルですのでこれからも頑張ってください。
演習 I	駒谷 真美	アンケート全項目において高い評価をもらえたことに心から感謝したい。この結果は履修生たち自身の授業でのエンパワーメントに他ならない。この講義はグループワークがメインで、前半は「SNS画像加工の功罪」についてのジェンダーを含めて多視点でディベートを行った。後半は「大学公認番組 渋谷のJJラジオ1 応援プロジェクト」について、グループごとに2ヶ月かけてじっくり企画しデモを入れた実践性まで検討したPBLプレゼンを行った。1年生ではかなり深慮する高度な内容であったにも関わらず、自らの成長実感度・授業満足度・学習意欲度は100%を示しており、学生自身の達成感につながったと思われる。加えて、学生グループが企画した応援プロジェクトが、2024年度の実現化に向けて始動しており、学生たちの成果が結実できそうで、大変喜ばしい。
演習 I	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。
演習 I	竹内 美香	お疲れ様でした。グループワークで大き目の課題に取り組む体験をして頂きました。 (1) 課題についての情報収集と個人レポートの作成(グループワークの準備) (2) グループメンバーとの情報共有(クラウド・データの活用スキル習得も)、(3) グループの制作方針と目標を定めて (4) 発表コンテンツの協働制作、 (5) 報告プレゼン: 第三者に教えるつもりで成果を公開する、(6) 他班の取り組みと併せて自分の取り組みを振り返り、次の機会に活かす本質を掴む・・・という構造化グループワークを丁寧に進めました。メンバーとしてそれぞれの皆さんが「自分も重要な役割を負っている」ことを体験できたのではないのでしょうか。独りでは難しい課題も、グループで相談すると質の高い取り組みに出来ますし、「目的の地までの長い距離」もメンバーと一緒に完走することも出来ます。この経験をこれからますます活かしてください。グループワークで「自分はよい者だ」と知ることが出来たことを忘れないようにしましょう。
演習 I	篠崎 香織	個人とグループのワークを両方行うことで、各自の力を高めることを意識して授業を行いました。もっと履修者が積極的に授業に関われる工夫、仕掛けを考え、改善を図ろうと思います。
演習 I	原田 謙	総合評価も4.7点と比較的高評価でした。とくに、レジュメの作成や発表などで「自分の成長」を実感してくれたようです。またディベートも良い経験になったようです。ぜひ学んだ方法を、他の授業でも活かしてください。
演習 II B	標葉 靖子	入門書ではありましたが、事前に作成した読書ノートをもとにグループでディスカッションしていく講義は、学術書を丁寧に読み解き、自らの意見を論理的に記述する良い練習になるものです。普段馴染みのない分野(本演習の場合は「生命倫理」)だったかもしれませんが、皆さんの視野を広げると共に、広く「読む」力の涵養になっていることを期待します。
演習 II B	井上 綾野	グループワーク等が多く、大変だったと思いますが、みなさんの積極的な取り組みが素晴らしかったです。
演習 II B	神山 静香	授業の理解度や授業のスピード、授業を通じた成長や授業の満足度等、すべての項目で肯定的な評価をいただきありがとうございました。授業への意欲的な取り組みの項目で回答者全員が「意欲的に取り組んだ」と回答しているように、今年度は、難しいテーマのディベートに履修者全員が意欲的に取り組みました。情報を取捨選択し読み解く力や自分の意見を発信する力を養うことができた等、肯定的なコメントをいただき大変嬉しく思いました。今年度の評価やコメントを次年度に活かしていきたいと思っております。
演習 II B	松浦 常夫	皆さん、班ごとに楽しそうにディスカッションをしていたようで、こちらもうれしかったです。

[2023 (後期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅡB	吉田 雅彦	94.1%の学生から満足という評価をいただきました。いつも先生をはじめメンバーの温かい空間で学ぶこの時間がとても心のゆとりになっていました。プレゼンのフィードバックや就活に向けた学びなど、働くことを意識した学びができたように感じます。後期授業、ありがとうございました。レポートの書き方、参考資料の必要情報、効果的なパワーポイントを学べたことがとても良かったと思っています。レポートの書き方や、プレゼンテーションについての注意点、エントリーシートについてなど、基本的であるが、重要なことについて、1から学ぶことが出来、プレゼンテーション力や文章力を身に付けることが出来たと実感している。レポートの書き方を理解することができた。リサーチクエスチョンをたてる力と、必要な情報を収集する能力と理論立てて考えを構築する力が身についたと感じている。などの評価をいただきました。
演習ⅡB	数野 昌三	2023年度「演習ⅡB」では、班分けし、メンバーで話し合い、テーマを設定、問題点を把握し、諸問題解決への基準を調査・比較検討することにより解決策へと導く。そのプレゼンの中でレジュメ&パワポを使用し、ゼミ員全員に理解してもらおうというプレゼンを目指しました。今後は、質問力を身につけるよう努力し、各専門ゼミにおいて羽ばたいて下さい。期待しています。
演習ⅡB	山根 純佳	予習復習時間にばらつきがあったので、なるべく平準化するように工夫したい。
演習ⅡB	谷内 篤博	総合的に満足したが4.65となんとか期待した水準に達しており、一応の満足は得られた。しかし、個人にバラツキもあり、反省するところである。
演習ⅡB	竹内 美香	お疲れ様でした。グループワークで大き目の課題に取り組む体験をして頂きました。 (1) 課題についての情報収集と個人レポートの作成(グループワークの準備) (2) グループメンバーとの情報共有(クラウド・データの活用スキル習得も)、(3) グループの制作方針と目標を定めて (4) 発表コンテンツの協働制作、(5) 報告プレゼン: 第三者に教えるつもりで成果を公開する、(6) 他班の取り組みと併せて自分の取り組みを振り返り、次の機会に活かす本質を掴む・・・という構造化グループワークを丁寧に進めました。メンバーとしてそれぞれの皆さんが「自分も重要な役割を負っている」ことを体験できたのではないのでしょうか。独りでは難しい課題も、グループで相談すると質の高い取り組みに出来ますし、「目的地までの長い距離」もメンバーと一緒に完走することも出来ます。この経験をこれからの専門ゼミで、ますます活かしてください。
演習ⅡB	広井 多鶴子	「班の人と協力してアプローチする力が身についた」「課題を発見する力が身についた」「PowerPoint作成、発表の仕方などの力が身についた」「レポートの書き方が細かいところまで分かった」といった感想が寄せられました。この授業を通して成長を実感できたことが、とてもよかったと思います。
演習ⅢB	数野 昌三	2023年度「演習ⅢA・B」受講生の皆さん。アツという間の1年でした。ゼミ生相互間も仲が良く、充実していたと思います。間もなく最終学年の4年生です。就活のスタート、検定試験の勉強、卒業論文の作成と1年間を一層早く感じることを思います。早期から計画を立て、健康には十分注意し、進めていきましょう。来年度もその調子でファイトです！ なお、ご承知のように、演習ⅣA・Bのご担当は、小川清一郎先生です。しっかりとご指導戴き、成長していきましょう！第1回目の演習には顔を出す予定です。連絡も下さい。それではまた。
演習ⅢB	栗津 俊二	回答者が2名だけだったのが残念ですが、数値とみるとそれほど問題なかったかと思います。
演習ⅢB	高橋 美和	アンケート結果は平均値でした。文献を読み、発表することは、皆さん上手になりました。また、ゼミメイトとも親しくなり、発言が徐々に増えてきているのを感じます。さらに私から求めたいのは、共感・同調だけでなく、全員が新規のアイデアを出せる人になってほしいということです。新年度、またがんばりましょう。
演習ⅢB	角本 伸晃	産学連携を行い、忙しい後期だったと思いますが、「4. あなたはこの授業をどれくらいの割合で理解できましたか？」では86.7%と全体の80%よりも高い割合となりました。「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」では4.33と評価されました。外部の企業や自治体との連携は当初の予定以外の内容を依頼されることがあるので、2024年度はなるべく負担が増えないようにしたいと思います。
演習ⅢB	標葉 靖子	ゼミのなかで柔軟に対応していければと思いますので、意見・要望があればいつでも遠慮なく申し出てください。
演習ⅢB	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。
演習ⅢB	松浦 常夫	4年生の授業を持ってずに残念ですが、授業で習ったことを忘れずに卒論を作成してください。
演習ⅢB	井上 綾野	グループワークが多く、大変だったと思いますが、企業や他大学との取り組みを通して、みなさんの成長が見られた点がとてもよかったと思います。
演習ⅢB	広井 多鶴子	授業に意欲的に取組んだという回答が多く、とてもよかったと思います。この調子で卒業論文に取組んでください。

[2023 (後期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅢB	竹内 光悦	1年間のゼミ活動、お疲れさまでした。次年度からは卒業研究ですが、今度は一人で進めていきますので、また違った学びを覚えていきましょう。
演習ⅢB	阿佐美 敦子	回答くださった方、ありがとうございました。 私からの協力依頼が足りず、10名の履修生に対して回答者が1名のみであったことを大変反省しております。次回は授業時間内に皆さんに回答の作業をしていただくようお願いするつもりです。 今期はタイの訪問に始まり、セブの学生さんたちとのオンライン交流まで、豊富な親善の機会を持ち、それぞれに成長を感じていたけたと思います。来年度は本格的に卒論に取り組むので、就活を頑張るかたわらで、先行研究の収集および読み込みを行ってくださいね。皆さんは自分にとって関心大の事象をテーマに選んでいるので、研究を楽しんで、学生生活の最後の年を楽しんでいただくことを願っています。不安なこと、疑問なこと、よろしければ何でも話してくださいね。
演習ⅢB	蔦 飛鴻	全体科目平均の4.42に対してこの科目の平均が4.67と高くなっています。今後も学生にとってわかりやすい授業を行うよう努めていきたいと思っています。
演習ⅢB	駒谷 真美	授業アンケート回答率が45.5% (11人中5人が回答)であったため、統計的言及は行えない。しかし、回答してくれた3年生は、高い自己成長度・専門学修意欲度・自己評価度・意欲的な取り組みを示してくれたことは、大変有難い。
演習ⅢB	時田 朋子	後期はプロジェクトを中心とした授業でした。楽しくも大変だったかと思いますが、大きく成長できましたね。4年生での卒論も頑張りました。
演習ⅢB	谷内 篤博	学生の満足度も高く、想定したゼミ内容となったようである。ゼミ生諸君の成長を期待したい。
演習ⅢB	篠崎 香織	演習Ⅲをベースに演習Ⅳに進むので、各自の関心のあるテーマを卒論に展開できるよう、履修者の考えを聞きながら進めます。
演習ⅢB	吉田 雅彦	楽しい授業でした！ 就活の相談や、単位のことについてなど、随時面談が行われていたので、早めに不安を解消することができた。 などの評価をいただきました。
演習ⅢB	竹内 美香	1年間の専門ゼミ、お疲れ様でした。 ゼミ生の皆さんは、ご自身の頑張りに対して自信を持って評価できる取り組みができましたか。 後期は、卒論準備のために専門学術誌から論文を収集して「抄読」レポート作成を中心に取り組みました。先行研究のテーマ設定、データ採集の方法や酒類、論文を記述する文体、数値の書き込み方、図解の示し方、先行論文書誌の書き方・・・すべて科学論文のお手本です。 科学論文として心理学研究を行うこと、卒論を書くというのはそのスキル獲得を目指します。 いよいよ「卒論」「卒業研究」の取り組みが開始されます。 価値ある経験になることを信じて、健康第一、明るい気持ちで一緒に頑張りましょう。
演習ⅢB	原田 謙	個別テーマ報告もPBLも、皆さん良く頑張りました。 卒論の準備もよろしくお祈りします。
演習ⅢB	山根 純佳	概ね肯定的な回答であったが、回答率が67%だったので、全員から回答を集められるよう努力したい。
演習ⅢB	高木 裕子	3年生後期に入り、就活や将来に関することを考える機会も増えたでしょう。今期は多くのゼミの先輩方にもご参加頂き、様々な角度から体験談をはじめ貴重なお話を頂きました。これらがお役に立てればと思います。また、次年度の卒論作成に向け、研究計画案についても触れさせて頂きました。次年度からは就活はじめ卒論執筆に向かいますので、頑張ってください。
演習ⅢB	神山 静香	教員からの指示が十分ではなかったため、回答数が少ない点が今年度の反省点です。回答については、ほぼすべての項目で概ね肯定的な回答をいただきありがとうございました。 次年度はゼミでの学びに対して、一人ひとりとコミュニケーションを密にとり、より興味や関心を高めてもらうための工夫を行っていききたいと思います。
演習ⅣB	駒谷 真美	授業アンケート回答率が18.2% (11人中2人が回答)であったため、統計的言及は行えない。しかし、回答してくれた4年生は、高い自己成長度・専門学修意欲度・授業満足度を示してくれたことは、大変有難い。
演習ⅣB	時田 朋子	卒論に頑張って取り組みましたね。楽しくも大変だったかと思いますが、大きく成長できました！
演習ⅣB	阿佐美 敦子	回答くださった方、ありがとうございました。 私からの協力依頼が足りず、11名の履修生に対して回答者が1名のみであったことを大変反省しております。来年度は授業時間内に皆さんに回答の作業をしていただくようお願いするつもりです。 今期は卒論に取り組む、無事に書き上げて発表しました。皆さんは自分にとって関心大の事象をテーマに選んだので、研究を楽しんで、学生生活の最後の年を楽しんでいただけたと願っています。卒論を書く上で体験した外部とのコンタクトの取り方など、社会人として働く上で役立つはずで、卒業後も、折に触れて母校を思い出し、よろしければ何でも話して、必要があればご相談ください。いつでも歓迎します。

[2023 (後期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅣB	蔣 飛鴻	全体科目平均の4.42に対してこの科目の平均が4.50と高くなっています。今後も学生にとってわかりやすい授業を行うよう努めていきたいと思ひます。
演習ⅣB	竹内 美香	卒論作成、お疲れさまでした。GFの準備、データの取り込みと加工、解析結果の理解と卒論本文への結果表の掲載のための編集、考察などなど、一緒に頑張れて指導教員としても安堵しています。書き出してみると、1つの論文を書くまでに随分いろいろな過程があることに気づくと思ひます。卒論が必修である理由や目的は、「あなた」ご自身がよく理解できたことと思ひます。卒論に必死に取り組む経験は代えがたい貴重なものであったと思ひます。作業の過程では「工程管理」と「見通しをつける力」だと思ひます。不安な取り組みの過程の傍らに信頼できる仲間と一緒に居る!ということも重要なことだったのではないでしようか。心理学の卒論を書いた「あなた」は、多分、社会人として何か実務を担当する時にも、卒論の時の経験を活かして工程管理できるでしよう。他の分野の新人さんよりも、巧みに見通しを立てることができるでしよう。どうか健康第一、ご自分を大切に育て続けてください。
演習ⅣB	松浦 常夫	卒論を無事に書き終え、よかったです。
演習ⅣB	篠崎 香織	各自が納得のいく卒業研究を進め、卒論に仕上げられるように、引き続き傾聴を重視して進めます。
演習ⅣB	吉田 雅彦	無事 全員卒論を出して発表することができました。
演習ⅣB	広井 多鶴子	回答は4人と少なかったのですが、回答者の満足度はとても高く、卒業論文の作成を通して、成長が実感できたようです。とても良かったと思ひます。
演習ⅣB	栗津 俊二	卒論お疲れ様でした。回答者が3名だけなのは残念ですが、評価値を見ると問題なかったかなと思ひます。
演習ⅣB	神山 静香	すべての項目で概ね肯定的な回答をいただきありがとうございます。教員からの指示が十分ではなかったため回答数が少ない点および今年度、教員側の事情により休講となることがあり、シラバスで示した授業計画通りの指導が十分にできなかった点について申し訳なく思ひています。次年度の演習に今年度の評価と意見を活かしたいと思ひます。
演習ⅣB	標葉 靖子	ゼミ・個別相談で適宜対応済みです。
演習ⅣB	谷内 篤博	回答者が1人と少なく、全体の様子が把握できないが、卒論を全員期日までに提出しており、口頭試問も全員合格で想定内容のゼミを実施できたと思ひている。
演習ⅣB	井上 綾野	卒論執筆が中心となりましたが、個人でとても良く頑張っていたと思ひます。
演習ⅣB	竹内 光悦	2年間のゼミ活動、お疲れさまでした。卒業研究も無事に完成してほっとしています。社会人になってもさらに自分で問題を解決していく力を伸ばしていきたいでしよう。
演習ⅣB	角本 伸晃	卒論指導が中心でしたが、「4. あなたはこの授業をどれくらいの割合で理解できましたか?」では87.5%と全体の80%よりも高い割合となりました。「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか?」では4.5と評価されました。ゼミ生の皆さんが、卒業してから活躍されることをを期待しています。
演習ⅣB	高橋 美和	お一人お一人、調査～論文執筆～度重なる修正～発表会まで本当にがんばりました。それぞれの充実感があつたようで、なによりです。
演習ⅣB	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思ひます。
演習ⅣB	数野 昌三	卒業論文提出を終え、発表会においても話しましたが、限られた7分間という時間の中で、人前で分かりやすく説明することの難しさも理解できたことと思ひます。このような訓練は就職後、必ず役立つと思ひます。そして、挨拶することはすべての人間関係の基礎です。励行することを心掛けましよう。今後、社会人の一員として羽ばたいていって下さい。
演習ⅣB	山根 純佳	概ね肯定的な回答であつたが、回答率が67%だったので、全員から回答を集められるよう努力したい。
演習ⅣB	高木 裕子	卒業論文の作成、本当にご苦労様でした。少し時間を空けてから、また読み直してみると、こう書けばよかつたと思うかもしれませんが、自分があの時、何を考えていたのがよくわかるかもしれませぬよ。論文を書いたことはきつと将来、大きな力になっていくことだでしよう。
演習ⅣB	原田 謙	皆さん、とても良い卒論を仕上げました。2年間、ありがとうございます。
応用心理学	松浦 常夫	manabaでの授業でしたが、よく復習してテストもよくできました。

[2023 (後期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
家族法	数野 昌三	2023年度「家族法」は、対面授業を実施しました。コロナ禍の中、通学には気遣いが多くあったことでしょうか。担当者としては、受講生の表情を見ながらの授業であったため、より身近な問題として理解しやすくなったと思います。家族法は、将来のご自身に必ず巡ってくる問題ですので、各自理解しやすい書物を手に取り、勉強を継続して下さい。 なお、最終講義へのご協力、誠に有難うございました。人生最後の講義が「家族法」。大きな印象となりました。
会計学総論Ⅱ	蔦 飛鴻	全体科目平均の4.42に対してこの科目の平均が4.60と高くなっています。今後も学生にとってわかりやすい授業を行うよう努めていきたいと思っています。
会社法	神山 静香	全ての項目で概ね肯定的な評価をいただきありがとうございました。特に、「この分野をさらに学びたいか」の項目や「授業を通じた成長」の項目で肯定的な評価をいただきありがとうございました。判例や身近なニュース等を多く紹介するように心がけましたが、事例を想像しやすく楽しく学べた、大きな学びになった、会社法に興味、関心をもったなどのコメントをいただき大変嬉しく思いました。比較的履修者の多い科目ですが、双方向での意見交換ができるよう工夫していきたいと思っています。
感情・人格心理学	竹内 美香	「感情・人格心理学」は、授業内でもご説明しましたように国家資格・公認心理師の受験資格として必須の学部科目の1つとして指定されている科目です。本来は「感情心理学」「人格心理学」としてそれぞれ独立した科目でもよい内容を100分*14回に凝縮しますので、コンテンツも多くなります。しかも、学部生は心理学の「初学者」でもありますので、用語解説も事例も必須。当然、内容は多くなります。 2023年度は、「2つ分の科目を融合して、しかも必須の学習内容があつて14回」というなかなか過酷な条件に挑戦してみました。理解して楽しいと感じて頂くために、できるだけ順序立てて説明するというのも目指しました。毎回、学んだこと、感じたこと、さらに調べたことなど言語化していただくようにワークシート課題を課していました。これは実際、忙しく大変だったと思いますが、非常に迅速に克明に書いて提出してくださる受講者の方もいて、23年度は教員も非常に励まされていました。素晴らしいですね。早いかから粗雑というのではないところが尊敬でした。これからは「書くこと」が好きでいて欲しいです。特技です。社会人になると、1日のうちにクリーンにしておきたい to do がますます増えます。その時に備えて「よい習慣ができましたね!!」と称賛です。 「感情・人格心理学」は、とても深く、まだまだ研究テーマにしたい事象が含まれる領域です。生活場面には、まだまだたくさん「感情・人格心理学」案件となるべき事象があります。さらに「目」を養ってください。
経営学概論	篠崎 香織	授業で使用するレジュメ（空欄にしない）や説明（さらにかみくだいて、大きな声で話す）の図ります。
経営管理論	寺本 有輝	本講義では、経営学の理論や概念を学ぶだけでなく、学んだことを実際に活用することに重点を置きました。そのために、文章の書き方や問いの立て方・展開方法を講義で扱ったうえで、グループ・ディスカッションやレポートの執筆などの学習活動を取り入れました。このような授業構成について、アンケートでは自由記述において肯定的な感想をいただきました。また数値を参照すると、「この授業に満足したか」という設問に対し、回答者の約70%が「とてもよくあてはまる」、約30%が「どちらかといえばあてはまる」と回答していることから、講義の目的はおおむね達成できたのではないかと思います。3年生の皆さんはこれから卒業論文に取り組むと思うので、講義で学んだことを活用してみてください。
経済学概論	角本 伸晃	経済学なので、数式やグラフを使わないわけにはいかないのですが、「4. あなたはこの授業をどれくらいの割合で理解できましたか？」では72.5%と全体の80%から1割くらい低い割合となりました。なるべく興味を持って、将来役に立つように行動経済学の項目も入れて授業を組み立てたので、「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」で4.08と評価されました。専門科目のある公務員試験で経済学の計算問題は合否の要になります。また、民間企業での基本知識は経済学なので、配布した講義プリントは必要に応じて復習に使ってください。
健康・医療心理学	竹内 美香	「健康・医療心理学」では特に性の心身の発達と社会的性別役割(ジェンダー)とキャリア形成、家庭と経済などを扱って参りました。2023年度は巷間話題となることが増えた「高齢者支援・介護」「老親との関係と支援」「自分自身の身体と健康」を社会的課題として取り上げることが多くなりました。まだまだ若い受講者の皆様に、どの程度リアリティがあるか、心配はしていましたが、国家試験も視野にコンテンツを豊富化していたのですが、気づいて頂けましたか。 2023年度の講義コンテンツに「高齢の人の心身と支援」を多くしたのは、実は2022年度の受講者の反響がこのセクションについてとても大きかったからでもあります。高齢の方々は、皆さんの身近でも祖父母様とその支援をされている親御様の姿として重要なことが読み取れました。発達は生涯にわたって「獲得と喪失」を含みます。「なぜ、それまで出来ていたことが出来なくなるのか」「老いて身体機能が低下するという経験はどのようなことなのか」「介護保険と要支援・要介護認定制度の利用では、実際どのようなことが起こるのか」など、今年も講義担当者と学生さんとで(提出されるワークシートを介して)濃密な情報交換ができました。講義を準備する時点では想像しなかったのですが、若い受講者の皆さんの身近にも「家族介護と支援」の課題があり、既にご自身の課題として切実に感じ始めている、と知る機会となりました。 2024年の1月1日に大きな大きな災害が起こりました。災害に直面した人々の心理的支援の基本について、プログラムを少し調整して扱いました。これを書いている時点でも災害地域の状況は難しいままです。「健康・医療心理学」を学ばれたい皆さんにも、多様で重層的な課題が突きつけられています。さらに学びましょう。
原価計算論	蔦 飛鴻	全体科目平均の4.42に対してこの科目の平均が4.50と高くなっています。今後も学生にとってわかりやすい授業を行うよう努めていきたいと思っています。

[2023 (後期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
現代企業論	吉田 雅彦	93.7%の学生から満足という評価をいただきました。業界研究、企業研究のやり方を身につけることができました。就職したい業界の選択肢を増やすことができました。この授業で学んだ内容は就職活動を行う企業を選ぶ際に役立つと思う。私が興味なかった業界なども知ることができてとても面白かった。未来の選択の幅が広がった。就活をしているので、業界研究や企業研究の仕方や知識を身につける双方向の掲示板が、ほかの受講生の感想や意見、先生の見解を見ることができたため、とても良かったです。授業内で業界研究や企業研究ができ、興味のある会社や業界を見つけることができたことも良かったです。また、企業の方のお話を聞くことができたことも、普段できない経験で面白かったです。ご指導ありがとうございます。吉田先生の授業は大学生活の中で一番多く受講させていただきました。今期の現代企業論では、今年4月からの就職先の内定者インターンで対面に行く回数が増えたと感じていましたが、その中でも外部の方のゲストスピーチがとても受けていて楽しかったです。「お金を稼ぎたい」という素直な思いを成功している大人の方から肯定された気持ちになりました。また、毎回の授業で様々な業界や企業について細かく学べたので、この先もし転職する機会があったら生かそうと思います。半期、ありがとうございます。などの評価をいただきました。
現代日本経済論	角本 伸晃	経済学なので、数式やグラフを使わないわけにはいかないのですが、「4. あなたはこの授業をどれくらいの割合で理解できましたか？」では76.2%と全体の80%からやや低い割合となりました。しかしながら、なるべく興味を持って、将来役に立つようなトピックを入れて授業を組み立てるので、他の経済系の授業よりも高い割合となりました。また、「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」で4.56と全体の4.42よりも高く評価されました。配布した講義プリントは将来役に立つと思うので、必要に応じて使ってください。
広告・PR論	井上 綾野	グループワークが多く、大変だったかもしれませんが、Webマーケティングの実践など、理論のみでなく実際にどのように役立っているのか学べたところが素晴らしいと思います。
行政法	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。
国際ビジネスと法	神山 静香	すべての項目で最も高い評価をいただきありがとうございました。授業を通じた成長や授業への満足度の点で高い評価をいただき大変嬉しく思いました。次年度も授業を通じて成長したと感じていただけるよう心掛けて授業を実施したいと思います。
国際企業論	吉田 雅彦	96.6%の学生から満足という評価をいただきました。授業前は不安であったが苦手分野に触れてよかった。テキストは今後も手元にあるので学びを続けていきたいと考えている。希望する点であればシラバスの授業内容について詳しく記載することだと思う。苦手意識のある学生の不安も取り除くことができると思う。時間をかけて勉強したい生徒もこの講義はおすすみたいと思えた。国際ビジネスについて考える機会が増えたとし、自分が社会に出ていく上で最低限のビジネスの知識を学べたと思う。国際企業という授業であったため、最初は難しい授業なのかと思っていたが、企業のことについてわかりやすい教材であったため、現在就職活動をしているのでとても有意義な時間であった。企業についての理解が深まった。会社に入って、分からないことがあったときにもう1度聞こうと思う内容でした。質問をすると、必ず回答をいただけたので、質問しやすく、安心して授業に臨むことができた。また、質問の回答の際に、別のサイトのURLを紹介されていたこともあったため、理解がより深まった。毎回課題に対する質問やコメントに対してのフィードバックがあるため、理解が深まった。などの評価をいただきました。
国際経済論	吉田 雅彦	95.6%の学生から満足と評価されました。経済に関するニュースを理解するために必要な経済学の用語などを、理解することができるようになった。国内外の経済動向や国際情勢に関する知識が増えたとともに、経済を学ぶことがいかに重要で私たちの生活と密接に関わっているかということが分かりました。また、コシノさんやモフタルリアディさんの「私の履歴書」では他者の人生を通して経済を知ることの面白さを感じ、経済を知る方法としてそうしたアプローチもあるのだということを知りました。約半年間ありがとうございます。半年間、ありがとうございました。今期はこの国際経済論の他に現代企業論も履修致しましたが、どちらも前期や去年に引き続き、興味深い授業内容と、毎度それに沿った小テストでの再確認、という理解が深まりやすいルートで学ぶことが出来ました。ありがとうございました。毎回感想や質問に対してのフィードバックがあり、より理解が深まった。などの評価をいただきました。
財政論	大澤 美和	学性が財政にさらに関心を持つと共に、分かりやすい講義となるように努めたいと思います。
社会システム論	篠崎 香織	考えたことを実行して一度うまくいかなかったら再考し、さらに行動することを授業の中で実現させることができました。また、それを通して、社会システムの成り立ちを身をもって理解してもらえたと思います。今回は個人の発表が急ぎ足になってしまったので、この点を改善していきます。
社会と統計	竹内 光悦	おおむね量的な質問項目をみると評価も悪くなかったのが良かったのですが、もう少し思うところもありますので、低い項目も参考にしたいと思います。

[2023 (後期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
社会と統計	竹内 光悦	半期、お疲れさまです。量的な評価も悪くなかったのでほっとしています。自由回答もおおむね高評価でしたので良かったです。次は別の授業で頑張しましょう。
社会学概論	原田 謙	皆さんの成績評価は、Bが最も多く、以降A、C、+Aの順になりました。授業のスピードや話の分かりやすさなど、授業の内容と方法に関する項目は4.5点を超過しており、比較的高評価だったようです。1年生の皆さんは、来年度以降、詳しく学びたいと思った社会学の選択科目をぜひ履修してください。
社会調査実習Ⅱ	竹内 光悦	人社の授業では珍しい1年間の授業となりましたがどうでしたか？評価を見るとおおむね悪くはないので、自由記述の定性的な内容も含めながら、今後の参考にしたいと思います。
社会調査方法論	原田 謙	成績評価は、Aがもっとも多く、続いてB、C、+Aの順になりました。授業のスピードや分かりやすさの評価は4.5点を超過しており、比較的高評価でした。授業で習った調査方法を、ゼミ論文や卒業論文で活用してください。
社会文化事業論	高木 裕子	今期は「文化」とは何かから始まり、それをどう意識化していくことができるかまでが授業の課題でした。私の講義と様々なゲストスピーカーによる「文化」紹介や実践・事例を通し、それが何であるのかを理解して頂くのは目標でした。単に「文化」とは何かというよりも、あなたの中で「文化」がどのように「深い学び」につながるのかを、課題解決や解決策を見出すという形で提示していきました。皆様方の「文化」についての意見や深いご説明は立派でした。これからもこのような経験を通じ、文化感を深め、文化性とは何かを考え、文化を扱うということを深く考えていってください。実に楽しい授業でした。
消費者心理学	井上 綾野	理論やモデルが多く、難しかったと思いますが、消費者を多角的に捉える力が身につけてよかったと思います。
心理学概論	松浦 常夫	皆さん、授業をしっかりと聞いていただき、ありがとうございました。
心理学実験Ⅱ	粟津 俊二	成績の自己評価以外の項目が全て4.5以上ですので、授業方法に問題はなかったと思います。みなさん、よく頑張りました。
心理学統計法	粟津 俊二	成績の自己評価以外の項目は4.0以上ですので、授業方法に問題はないかと思えます。
心理的アセスメント	佐藤 恵美	本講義を受講してくださり、ありがとうございます。皆さんがとても良く聞いてくださったので授業をしやすかったです。また授業後の課題も提出率が高く、本当に頑張ってくださいと思います。ありがとうございました。
神経・生理心理学	間野 陽子	神経・生理心理学では、脳の機能と構造、人の視覚・注意・運動・記憶・言語・感情・社会性・加齢等の仕組みと障害について学びました。これらの認知機能は、日常生活において、必要不可欠なものばかりです。授業で学んだ内容は、みなさん身近な事柄として捉えることができたようです。神経・生理心理学での学びは、日常生活において、自分自身の思考や行動が、脳内でのどのように処理されているのかについての理解を深め、さらに認知症、発達障害、精神疾患等の脳活動を理解することで、自己と他者との違いを通して多様性を理解することにも役立ちます。みなさんが学んだ知識を、自分自身について見つめなおしたり、他者について理解したり、社会の中での多様性を理解することに役立てていただければ幸いです。
人間教育学概論	広井 多鶴子	意欲的に取組んだという人が多く、今日の教育問題に関する理解が深まったという感想や、データや資料を読み解く力が付いたという感想が多く寄せられました。資料をさらに分かりやすくするという課題はありますが、総じて高い満足度を得られたものと思えます。
人体の構造と機能及び疾病	塩川 宏郷	解剖学、生理学、診断学、病態生理学を網羅した内容で、学生のみなさんは熱心に受講されておられました。心理向けの科目なので、精神疾患や心身症についてもう少し盛り込んでもよいかもしれませんが、「精神疾患とその治療」に回していますので受講をお勧めします。
精神疾患とその治療	塩川 宏郷	公認心理師受験資格のための必修科目ですが、受講者が少なかったのが残念です。統合失調症やうつ病についての時間が少なかったかもしれません。
多文化社会論	高橋 美和	アンケート結果の数値はほぼ平均値でしたが、教員の説明が「ややわかりにくかった」、双方向の工夫が「ややできていない」という回答が少数ながらありましたので、今後の改善点といたします。この授業の内容は、単純化困難な事柄が含まれますが、よりわかりやすい授業を心がけたいと思います。一方、コメントの中に、「多文化社会である日本で今後自分自身がどうしていけばよいのか考えることができた」という感想が複数あり、嬉しく、また頼もしく読みました。
地域経済論	角本 伸晃	経済学なので、数式やグラフを使わないわけにはいかないのですが、「4. あなたはこの授業をどれくらいの割合で理解できましたか？」では73.8%と全体の80%から1割くらい低い割合となりました。しかしながら、地域についてなるべく興味が持て、将来役に立つトピックを入れて授業を組み立てたので、「15. 総合的に判断してこの授業に満足しましたか？」で4.24と評価されました。24年度からオンデマンドになるので、それに対応した授業の工夫をしたいと思えます。
福祉社会学	山根 純佳	概ね肯定的な回答であったが、回答率が67%だったので、全員から回答を集められるよう努力したい。

[2023 (後期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
簿記論Ⅱ	蔣 飛鴻	全体科目平均の4.42に対してこの科目の平均が4.64と高くなっています。今後も学生にとってわかりやすい授業を行うよう努めていきたいと思ひます。
簿記論Ⅱ	小澤 康裕	「難しく復習しにくい箇所は動画を見直すことができたのですごく助かり、勉強しやすかった」ということでしたので、今後も復習用動画の公開は継続したいと思ひます。また、「授業前に行う小テストを通じて、自分が分からない部分を確認し、復習に励むことができた」ということでしたので、毎回の小テストも継続します。 「前期、後期と両方簿記の授業を取り、自分で興味をもって学ぶことの楽しさを知りました」というコメントは大変ありがたかったです。今後も、簿記はもちろんのこと、他の分野についても自分で興味を持って学んでもらえると嬉しいです。
法律学	数野 昌三	2023年度後期「法律学」はZoom授業を実施しました。対面授業と異なり、パソコン等を見ながら、自分のペースで何回も視聴することができ、画面がフリーズすることはあっても、内容はしっかり理解できたことと思ひます。法律は難しいというイメージが付きまといますが、日常生活上必須の存在として今後も法律科目を受講していくことが大切と思ひます。期待しています。